道徳学習指導案

指導者　○　○　○　○

１　主題名　家族の一員として　　Ｃ－（14）家族愛・家庭生活の充実

２　資料名　一冊のノート　　出典：私たちの道徳　中学校（文部科学省）

３　本時のねらい

祖父母が年を取って認知症を患うことは、時に情けなく、時に恥ずかしく、時にその行動に怒りを覚えることもある。しかし、その祖父母の行動の背景に家族への精一杯の思いがあることや、変わってしまう自分自身に誰よりも不安や悲しみを抱いていることに思いをよせさせたい。そして、祖父母が幸せや安心を実感できるために、家族の一員として、自分の役割や在り方を考えようとする心情を育てる。

４　本時の指導

指導過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習活動 | 主な発問と予想される生徒の反応 | 指導上の留意点 |
| 方向付け | １　自分の家族について振り返る。 |  | ・生徒の家族構成や家庭環境に留意する。 |
| ２　価値の方向付けをする。（１）本時のめあてを知る。○家族の一員として、家族との接し方について深く考えよう。 |  |  |
| （２）登場人物とその関係を知る。 |  |  |
| （３）教師の範読を聞く。 |  |  |
| 価値の追求・把握と主体的自覚 | ３　本資料に登場する人物の気持ちを想起する。 | ○僕は、おばあちゃんのどんなことに怒っていたでしょう。 |  |
| （僕が祖母に何を怒っていたかを押さえる。） | ・問題集をなくしたこと・みすぼらしい恰好で買い物に出かけたこと・帽子をなくしたこと（弟） | ・弟の祖母に対する怒りも同時に押さえる。 |
| ４　状況を自分に置き換えて、祖母に対する気持ちを考える。 | ○あなたなら、おばあちゃんの失敗や間違いを許せますか。【許せる】・おばあちゃんも好きでこうなっているわけではないから仕方ない・自分（僕）が管理できていないのだから仕方ない【許せない】・自分だけでなく、友達にも迷惑をかけている・恥ずかしいから許せない【葛藤が現れている意見】・頭では分かっていても腹がたつ・祖母が忘れているくせに、反論をすることは納得できない(補)なぜ、おばあちゃんは、「せめてあと５年」と言っていたのでしょうか。・あと５年たつと、僕が成人するから・あと５年たつと、弟が中学を卒業するから・僕や弟が、自分のことは自分でできるようになるから・私（祖母）がいなくても、ちゃんと孫たちがやっていける歳になるから | ・心情円盤で自分の気持ちを表現させる。・許せる、許せないだけにこだわらず、生徒の心情の葛藤をくみ取る。・祖母が、なぜ反論するのかを考えさせる。・なぜ、「あと５年」なのかについて考えさせる。 |
| 終末 | ５　学習の振り返りをする。 | （生徒たちの意見をもとに、価値を深め合う） | ・家族の在り方はそれぞれの家庭で多様であるが、一人一人が家族である実感をもち、助け合いながら生活していくことの温かさ、大切さについて気付かせる。 |
| ６　教師の説話を聞く。 |  | ・説話を聞き、余韻をもって終わらせる。 |

５　本時の指導

　　家族の一員として、自分の役割や在り方を考えようとする心情を育てることができたか、発言の様子や振り返りの記述から判断する。